

ミライ研の新企画です。より若手世代へのアプローチを試みます。

「技術士を知ろう！ in 上野幌中学校」

1. はじめに

「技術者のミライ研究委員会」(ミライ研)にて運営等を担当している「技術士を知ろう！」ですが、2021年度の活動第3弾は、初の中学生を対象とした講演会となりました。今回も青年技術士交流委員会(青技交)の連携・協力を得て、実施しています。

ミライ研の講演会と言えば、高等教育機関の理工学系教育現場がメインなのですが、今回は「総合的な学習の時間」枠で、3年生の重点目標である「自己の生き方を考えることができるようにする」事を目的に講演会を実施する事となりました。

2. 実施概要と事前の段取り

開催日時：2021.10.28(木)8:50～9:40

講義内容：仕事内容と中学生に向けて(講演2編)

技術士資格の説明

対象者：札幌市立上野幌中学校3年生 計82名

参加幹事：永井、千葉(記)(ミライ研2名)

正田(青技交1名)

今回、上野幌中学校での講演は、担任の長谷川雄一先生の力強いバックアップがあって実現することが出来ました。事前の打合せで頂いたオファーは、「義務教育最終年度を迎えた3年生徒に、自分の職業選択や生き方などをより深く考えるきっかけを与えたい」、「今の仕事に就かれた経緯、この仕事ならではのお話やエピソード」、「これから社会にでる中学生に期待すること」の3点でした。

早速、ミライ研の幹部メンバー“神4”が集合し作戦会議です。企画コンセプトは、“中学生に想いを届けるため、講演者は同世代の子供を持つメンバーと若い世代の技術者とする”。また“技術士は身近に存在することを伝える”に決まりました。



写真-1 感染対策のため体育館と大型スクリーンを使用

3. 技術士の仕事内容と役割

(1) まちづくりの仕事紹介(正田技術士補)

具体的な仕事内容の紹介として、まずは日本データサービス(株)に勤務する正田技術士補から、「学生生活と現在の仕事の繋がり」と題してプレゼン発表を行いました。

正田さんの特技でもある“顔マネ芸”を織り交ぜつつ、自身が関わっている仕事紹介から始まり、学生だった頃に思っていたことについて教えてくれました。

そして今社会人になって、大人になることや仕事をすることはどう言うことであるか、自身の体験談から学生達にメッセージを伝えていました。



写真-2 顔マネ芸で和ます正田技術士補(青技交 幹事)

(2) ワクワクするミライの始まり(永井技術士)

続いて、最近独立し合同会社 LinC(リンク)の経営者であり且つ高2、小5の子供のお母さんでもある永井技術士から、ワクワクするミライの始まりと題してプレゼン発表を行いました。

進路の選択では、自身の体験談をもとに「まだあせらなくてもいい」、「今は道を切り開く力を身に付ける事が大事」であると語りました。

また、これからの働き方は、限られた時間の中でいかに結果を出すか、時間の使い方が大切であると話し、勉強も同様に勉強の仕方を身に付けることが大事であると伝えていました。



写真-3 腹を括った過去を語る永井技術士

4. 技術士について

講演最後は、筆者より「技術士について」と題して、技術士資格の概要や部門数等について概説しました。より技術士を身近に感じてもらうため、「ショートケーキが出来るまで」を例えに、様々な技術士が関わっていることを伝えました。そして、美味しいケーキを食べ続けるには、持続可能な社会を担っていく必要がある。その役割を果たすため、技術士を目指すという選択がある事を伝えていました。



写真-4 生徒と技術士の繋がりを語る千葉技術士(筆者)

5. 質疑応答

いつもの「技術士を知ろう！」講演では、講演の合間に質問用紙に意見を書いてもらい、講演最後にQ & A形式で回答するパターンとなっています。今回は中学生が対象と言うことで、講演終了後に用紙を配布し、質問・意見を記入してもらう形としました。送られてきた意見には「上野幌をもっと良くするために、どんなことをすると良いですか」、「仕事と生活を両立させるために、どんなことを心掛けていますか」、「自分で道を切り開くとはどのようなものか、詳しく聞いてみたい」といった、とても中学生とは思えないような、色々な質問や意見が多く寄せられました。

6. まとめ

学生からの感想には「技術士の部門の中で、機械、農業、水産に興味があります。」「講演を聞いて、自分の将来やりたいことが見つかり、それに向けてワクワクしています。」「技術士を様々な分野から興味のあるものを調べてみたい。」等の技術士取得の動機となるようなキーワードが多くありました。アンケートでは、41人中39人が「技術士を今回初めて知った」「名前だけは知っていた」等だったのに対し、41人中8人が「将来技術士を取得したい」と回答してくれました。

また、「講演を聞いて今まで知らなかった事を知ることができ、これからの進路選択の支えになりました。」「なんとなくの考え方じゃなくて、少しずつでも自分の将来を考えていきたいと思いました。」「今回の講演から、自分の将来のことをしっかり考えて高校選択をしたい。」といった感想も頂きました。同アンケートでの今回講演の「わかりやすさ」「満足度」は5段階評価でいずれも4.7、4.6と学生に高評価であったことも一因だったのでは、と考えています。

今回の講演ですが、コロナ禍の影響から講演者を探していた上野幌中学校の先生と、ES研の板谷技術士との個人的な繋がりから、ミライ研にオファーを頂きました。ミライ研としても新たな活動の場を見出すことが出来た気がしています。